

国立市議会議員

こぶしの木

2008.1.17 発行

# 上村和子市議会レポート 国立駅まちづくり号外

## 「国立駅周辺まちづくり基本計画(案)」をめぐる ～その進み具合とポイント～

### 基本計画案作成の主体とスケジュール

#### 案を作るのは

国立市は2007年8月に発足させた国立駅周辺まちづくり推進協議会に基本計画案の策定作業をゆだねています。

この協議会は、国立市が定めた『国立駅周辺まちづくり推進協議会設置要綱』に基づくもので、「基本計画案を作成して市長に提出すること」がその任務とされています。委員は12人で、市が委嘱した学識経験者3人、国立駅周辺関係団体推薦者6人、公募市民3人から構成されています。

#### 案づくりの日程は

協議会は、2008年1月21日に第4回目(作業部会と合わせると第10回目)の会合を開き、基本計画案の中間とりまとめを行なう予定です。

そののち、その案をもとに1月25日から31日にかけての市民説明会(下表)で市民の意見を聴取、その意見等もふまえて、2月15日に基本計画案のとりまとめる予定となっています。

国立市はこの案の提出を受けて、3月の市議会に報告、関係機関(JR、バス・タクシー事業者、その他)と協議して、6月議会までに基本計画とする予定としています。

### 基本計画案のポイント

国立市の担当部局(国立駅周辺まちづくり推進室)の説明によりますと、2007年末の段階では、基本計画案がどのようなものになるかは、まだ決まっていない、とのこと。

協議会では、さまざまな点に関してさまざまな意見が出され、また、市民団体等から多くの意見が出されていますが、協議会として意思統一がされるには至っていない

ようです。

国立駅周辺をどのような街にするか、検討すべき事項はたくさんありますが、大きなポイントは以下の7つでしょう。

- ① 駅前をどうするか。駅前のスペースに旧国立駅舎を復元するかどうか。
- ② 駅南口西側の現駐車場用地(4895㎡)の利用をどうするか。6～9階のビルを建てることなどが検討されているようです。
- ③ 南口・現駐車場用地および、高架下で国立市が利用できるスペース(約2700㎡)をどう利用するか。図書館、市の窓口、駐車場、商店街、子育て支援施設、等々の声があがっています。
- ④ 駅周辺の車の流れをどう制御するか。バス停の位置、タクシー乗り場等々。できるだけ駅前ロータリーに車を入れないという基本方向が出ているようですが、そのための妙案は出ていないようです。
- ⑤ 駅北口とくに総研線跡地の利用をどうするか。
- ⑥ 駅周辺まちづくり計画とは一応別個の計画としてある、都市計画道路3・4・10号線の整備計画(駅東の拡張されるガード下と旭通りをつなぐ道路計画)をどうとらえ、これとの整合性をどうとらえるか。
- ⑦ お金の問題をどうするか。

### 国立駅周辺まちづくり基本計画(案) 中間のまとめ 市民説明会

日時	会場
1月25日(金) 夜7～9時	国立市役所3階大会議室
1月26日(土) 昼10～12時	くにたち北市民プラザ多目的ホール
1月26日(金) 昼2～4時	くにたち南市民プラザ多目的ホール
1月29日(火) 夜7～9時	青柳福祉センター2階会議室
1月30日(水) 夜7～9時	国立市公民館地階ホール
1月31日(木) 夜7～9時	下谷保地域防災センター2階視聴覚室

# 上村和子の考え 駅前はオープンスペースが望ましい

基本計画の作成方法には、多くの問題があります。

あまりに拙速で市民の意見を十分には反映しない計画となるおそれが大です。



(大学通りから国立駅前を見る 2008.1.8)

また、前記のポイント①～⑦についても、いろいろの意見があります。今回はまず、前記ポイントの①駅前のかたち、について私の考えを述べてみます。

\* \*

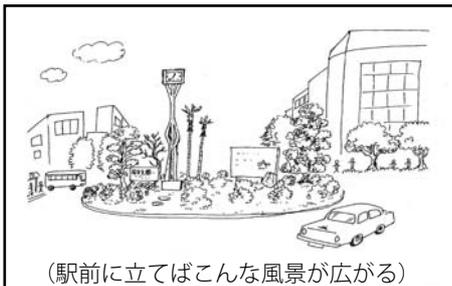
私は、駅南口前・旧駅舎のあった場所を、駅利用者や市民のための、オープンスペースとして活用する計画が望ましいと思います。

## 理由 1 通行の便利、安全が確保できる。

駅は、まず何よりも、人々が行き交う場所です。毎朝、毎夕の通勤・通学時、あるいは、なにかのイベント等がある時、そうした混み合う時にも、人々がスムーズに、安全に行き交える場所であることが大切です。そのためには、駅前を、見通しのいいオープンスペースにしておくことが必要です。

## 理由 2 展望が開ける。

国立駅南口を出ると、まず、円形公園が目にはいる、大学通りの展望が開ける、景色が広く、奥行きもある、空が広い。ああ、いい町だな、と訪れた人が思う、国立駅南口を、そんな駅前にしたしたいと思います。



(駅前に立てばこんな風景が広がる)

## 理由 3 自由な利用ができる。

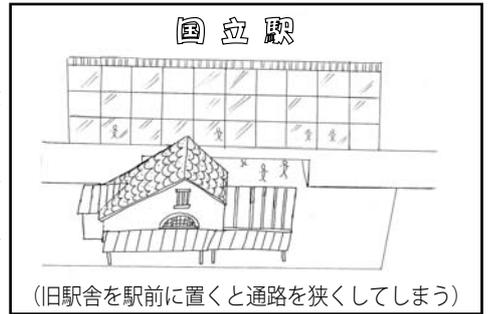
オープンスペースがあると、そこでいろいろなイベントが開催できます。演説会や集会を開く、小さなコンサートを開く、四季折々に、花や農作物の朝市を開く、物産展を開く、絵や写真の展示会を開く、等々。そのまま青空の下で、時にはテントを張って、あるいは、椅子を並べて。オープンスペースだと自由自在に使えます。また、通行の邪魔にならない範囲で、円形公園や大学通りの景観に合った樹を植えたり、花を飾ったり、ベンチを置いたりすることもできます。人々が、のんびりとした時間を過ごせる場所ともなる、というわけです。

\* \*

なお、ここには、旧駅舎を復元するという案が有力であり、多くの市民が希望するものともされています。基本計画案でも、この案が打ち出される可能性が高いと思われませんが、私は問題だと思えます。

その計画では、オープンスペースの大半が旧駅舎によって占拠されてしまうからです。

その結果、①駅利用者のスムーズな通行が損なわれてしまいます。特に、改札口から南西へ、また、市の南西から改札口への通行は、旧駅舎の裏か表か、いずれにしろ幅数メートルの狭い通路を通らなければなら



(旧駅舎を駅前に置くと通路を狭くしてしまう)

ならず、ラッシュ時や雨の日など、混雑は必至でしょう。

また、②駅を出た人は、いきなり旧駅舎の裏を見ることになります(旧駅舎の裏側は、一体どんな姿なので



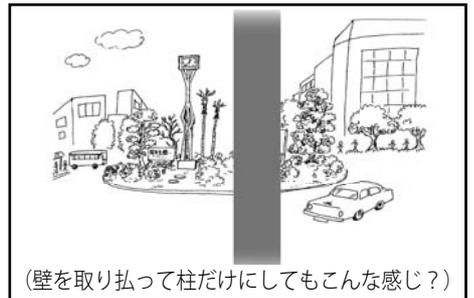
(せっかくの駅前風景が旧駅舎で半分隠れてしまう)

でしょうか、想像もつきません)。駅を出たところで目の前を塞がれて、開放感はなく、円形公園から大学通りにかけての景観が十分には見えません。国立駅に降り立ったときの、街の第一印象を、著しく損ねることにならないでしょうか。

加えて、③旧駅舎を使つてのイベントは可能でしょうが、自由な使い方という点ではオープンスペースに劣ります。オープンス

ペースと違って、建物の管理も維持も大変です。

旧駅舎については、もう、駅舎ではないのですから、旧駅舎



(壁を取り払って柱だけにしてもこんな感じ?)

の跡地にこだわらず、市内のしかるべき場所に復元・活用されているのではないかと私は思います。